

早稲田大学 大学院法学研究科
2024 年度 修士課程入学試験問題（一般入試）
【専 修 科 目】

専攻名： 民事法学

専修名： 民法

以下の問題から 1 つを選んで解答しなさい（留学生においては、自国の例を引いて比較してもよい）。なお、解答の冒頭にいずれの問題を選択したかを明示すること。

問題 1

民法における「人」の捉え方は、どのように変容してきたか。自身が専攻しようとする分野との関係を踏まえて、任意の具体的な事例に基づいて説明しなさい。

問題 2

契約の締結は、各当事者の自己決定と自己責任とに委ねられているとの理解の意義と射程について、いわゆる「附合契約」を念頭において検討しなさい。

問題 3

遺言の自由の意義とその限界について、民法が定める具体的な制度に触れつつ論じなさい。

答案の書き方（横書／縦書） 六法全書の使用を（認める／認めない）